

西アジア発掘調査報告会報告集

執筆要項・提出方法

-
- ※ 編集作業軽減のため、表記統一のご協力をお願い申し上げます。
 - ※ 昨年度の報告集を参考にしてください。
 - ※ ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

お問い合わせ先：西アジア発掘調査報告会報告集編集：excavationjswaa@gmail.com

■執筆要項（テキスト原稿および図版）

1. テキスト原稿について

- (1) Microsoft Wordで作成し、拡張子「.doc」「.docx」のファイルで提出してください。
- (2) Wordのスタイル設定を使わず、できれば、本文：MS明朝、欧文：Times New Roman、フォントサイズ10ptで作成してください。
- (3) 数字や単位は半角英数にしてください。（例：1, 25, km）
- (4) テキスト原稿には次の項目が必要です。

各詳細は以下（5）の「テキスト原稿各項目詳細」を参照してください。

- ① 発表題目（主題、副題）（英文併記）
- ② 執筆者全員の氏名・所属・職名（英文併記）
- ③ 本文
- ④ 参考文献
- ⑤ 図版番号・キャプション
- ⑥ 代表者連絡先

(5) テキスト原稿各項目詳細

① 発表題目（主題、副題）（英文併記）

- 1) 原則として申込時の題目と同じものです。主題は調査の目的や研究内容が一般市民にも伝わりやすいものとし、副題に調査国、遺跡名、発掘回数、発掘年が記されているのが理想です。
- 2) 日本語および英語の両方で表記してください。申込フォームでは発表題目（主題）、副題別々にご記入いただきましたが、テキスト原稿では、主題副題をつなげてください。日本語では副題を「―」（ダッシュ）で前後を括り、英語では「:」（コロン）の後、半角1字分を空けてつなげてください。
- 3) 英文題目は頭文字（冠詞等のぞく）を大文字表記にしてください。

例：コーカサスの中石器文化―アルメニアにおける考古学調査（2015年）―

Mesolithic Culture in the Caucasus: Archaeological Fieldworks in Armenia in 2015

② 執筆者全員の氏名・所属・職名（英文併記）

- 1) 英文氏名は[苗字, 名前]とし、苗字は全て大文字、名前は最初のみ大文字。
- 2) 英文所属は[職名, 所属]とし、単語の頭文字を大文字。

例：西アジア 太郎 日本西アジア考古学会会長

NISHIAJIA, Taro President, Japanese Society for West Asian Archaeology

(注意) 目次・インデックス記載名について（執筆者が2名以上の隊の場合）

- ・紙面の関係上、目次・インデックスには全員のお名前を掲載できません。
- ・特に指示がない場合は、代表者のみを掲載し、最後に「ほか」をつけます。
- ・複数名の記載を希望する場合は、上限3名の掲載が可能ですので、ご指示くださいますようお願いいたします。
掲載したい氏名の前に番号をふるなどして、ご指示ください。

例1：指示のない場合

（執筆者）：田中 晃、渡辺 了、鈴木 信也、東山 誠一、山田 托男、橋本 久志

（目次・インデックス）⇒田中 晃ほか

例2：複数名のうち、2名掲載希望の場合

（執筆者）：①田中 晃、渡辺 了、鈴木 信也、②東山 誠一、山田 托男、橋本 久志

（目次・インデックス）⇒ 田中 晃、東山 誠一 ほか

③ 本文

- 1) 4,000字程度 ※規定ページ内に収まるよう調整してください。
- 2) 読みやすいように、見出し番号と見出し（MSゴシック体）をつけ、改行してください。

例：1. はじめに …// 2. 調査目的 …… // 4. まとめと展望

④ 参考文献

- 1) 関連の報告書・概報・関連刊行物など。多くある場合は、最近の5年に絞るなどしてください。
- 2) 参考文献の書式は、学会誌「西アジア考古学」に準じてください。
- 3) 過去の発掘報告会報告集は「『第XX回西アジア発掘調査報告会報告集』= = 頁 日本西アジア考古学会」としてしてください。

⑤ 図版番号・キャプション

図版番号は図1、図2、図3とし（数字は半角英数）、各図版にキャプションをつけてください。

例：図1 調査地の位置、図2 遺跡全景

⑥ 代表者連絡先：代表者名と、校正をpdfで受け取ることができるメールアドレス。

2. 図版（図・表・写真）について

- (1) 「.jpg」 「.tiff」 「.psd」 「.eps」 「.ai」などの形式で保存した電子データで提出してください。
- (2) 図版は必要最低限の数量にとどめてください。
- (3) 図版の縮尺は編集担当者の判断で行い、基本的に幅一段分（6.6cm）の大きさを配置します。特に希望があればpdfなどで指示してください。
- (4) 印刷用の高解像度（仕上りサイズで350dpi以上）で作成してください。
- (5) 印刷は白黒です。カラーでしか判断できない図表は避けてください。

※ただし、カラーのPDFをウェブサイトへアップしますので、写真をモノクロにする必要はありません。

- (6) Illustratorで作成した場合、テキストをアウトライン処理してください。
- (7) それぞれを個別のファイルとしてご提出ください。ワープロソフトやパワーポイントなどに貼り付けたデータはお受けできません。
- (8) 図版のファイル名は、図 1、図 2…のように、図の番号にしてください。
- (9) 本文中に図版の挿入場所をご指示下さい。例：土壁が検出された（図3）。
- (10) 掲載する図版の著作権所有者・機関からの許諾は執筆者の責任において事前を取得してください。

3. 紙幅制限について

下記の仕上り仕様で2～6ページになります。

※仕上がりはA4版 横書き 2段組 1段23字×46行

※最初のページは、報告題目や執筆者の人数により本文行数が変わります。

■提出方法

1. 提出方法および提出先

- (1) 上記執筆要項に則ったテキスト原稿と図版のデータを下記宛にEメールして下さい。
- (2) ファイルサイズが大きく（10MB以上）、ウェブ上のファイル送信サービスを利用する場合は、保存期間を5日以上に設定してください。また、別途メールにて送付した旨をお知らせください。

原稿提出先：西アジア発掘調査報告集編集

Eメール：excavationjswaa@gmail.com

- (3) 送付後1週間たっても受領確認メールが届かない場合は、誠にお手数ですが、上記編集または下記学会事務局宛にご連絡くださいますようお願いいたします。

日本西アジア考古学会事務局 メール：office@jswaa.org FAX：029-853-4432

2. 締め切り

- (1) ホームページに記載された締め切り日を厳守してください。編集作業の遅れは、編集委員の大きな負担となりますので、なにとぞご協力をお願い申し上げます。
- (2) 締切りに間に合わない場合は、編集委員 (excavationjswaa@gmail.com) までご相談ください。大幅な遅れが生じる場合は掲載できない場合もありますことをご了解くださいますようお願い申し上げます。

3. 校正

- (1) 著者による校正は初校のみとし、校正での大幅な加筆、修正等をご遠慮ください。
- (2) 校正は1月下旬に予定しています。12月から1月にかけて長期不在のご予定がある方は、あらかじめご相談ください。

(2018.10.19 改訂)